

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助金										
補助率	県1/2、市町1/2										
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[教育振興基本計画、元気な福井の健康づくり応援計画]			
[解決すべき問題・課題]											
全国平均に比べ、本県の（処置歯を含む）むし歯のない児童・生徒の割合が低い。											
[事業目的]											
生活習慣を見直すことを通して、視力低下の進行を遅くするとともに、トレーニングにより視覚機能の改善を促進する。 正しい歯みがきの仕方を身につけることや乳歯のむし歯治療を促進させることを通して、永久歯のむし歯予防対策を促進する。											
[事業内容]											
○目の健康プロジェクト ・目によい生活習慣を身につけるための「生活習慣チェックカード」の活用 ・「目の健康を守る3か条」運動、「目のリフレッシュタイム」「ビジョントレーニング」の実施											
○歯の健康プロジェクト ・秋に歯科追加健診を実施し、状態観察とむし歯治療を勧告（市町への補助） 対象：小学校1・4年生 補助率：県1/2、市町1/2											
[受益者] 小・中・特別支援学校の児童生徒						[想定される受益者数] 約63,000人					
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 子どもの歯の健康プロジェクト(健康政策課) (役割分担) 保健体育課：就学児童生徒 健康政策課：未就学児				
市町との連携状況	小学1、4年生全員を対象に秋の歯科追加健診を実施					他県の状況	石川県：特になし 富山県：特になし				

子どもの目と歯の健康プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博					
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	□ 実行予算		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	補助金					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率	県1/2、市町1/2															
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,300						1,300									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		5,185	4,926	4,603	1,350	1,300	児童数の減									
2月現計予算額の推移		5,185	4,926	4,603	594											
決算額の推移		4,507	4,417	4,332												
前年度までの 主な増減理由		H30年度：正しい歯みがきリーフレットの作成について、委託から印刷へ見直し R元年度：新たに中学1年生にデンタルミラーを配布、小学1年生への口模型配布を終了 R2年度：・各市町や学校が必要な情報を追記できるよう生活習慣チェックカードをデータ配信に変更 ・学校での発達段階に応じた歯みがき指導法が定着したため、歯垢染色剤等の配布を終了														
[成果指標等の推移]																
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	むし歯のない(処置者を 含む)小学生の割合(%)	(目標) 72.0 実績 72.2	(73.6) 74.2	(75.0) 73.7	(75.0) —	(75.0)	(75.0)	(78.2)	学校保健統計調査より抜粋 ※R2：R3.7公表予定							
活動指標	歯磨き指導実施率(%)	(目標) 100 実績 100	(100) 100	(100) 100	(100) 100	(100)	(100)	(100)								
[事業の評価]																
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価								
新型コロナウイルス感染症の影響で法定歯科健診の実施時期が遅れたため、一部市町が秋の追加健診の実施を見送り								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								■ 継続	□ 休止	□ 完了						
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H24 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算			事業経過年数					10 年			
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題]												
大震災や台風・集中豪雨等による自然災害、登下校中の交通事故、不審者による犯罪被害など、子どもの安全を守るための対応がより一層必要である。												
[事業目的]												
学校における実践的な避難訓練や児童生徒の交通安全教育、防災教育、防犯教育を充実することで、安全安心な学校生活の確保を図る。												
[事業内容]												
<p>○学校安全防災の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校防災アドバイザーや緊急地震速報システムを活用した避難訓練等を行うモデル地域を設定 ・モデル地域で構築された学校安全の推進体制を県内に普及し、全域で推進体制を構築、防災教育を推進する。 (R3年度：10のモデル地区を設定) <p>○学校安全教室の推進</p> <p>教職員を対象に講習会を開催し、学校での防災・防犯・交通安全に対する意識向上等を図る。(R3年度：交通安全教室講習会を開催)</p>												
[受益者] 小・中・高等・特別支援学校の児童生徒、教職員						[想定される受益者数] 約63,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	実践地域(市町)を指定し、地域内の学校を対象に事業を実施					他県の状況	・石川県：学校防災アドバイザーを派遣 ・富山県：学校防災アドバイザーを派遣					

学校安全防災推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,592	2,592					0 学校安全推進事業							
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		3,996	3,961	4,524	2,738	2,592	緊急地震速報装置設置予定校数の減							
2月現計予算額の推移		3,996	3,961	3,186	811									
決算額の推移		2,275	2,579	2,894										
前年度までの 主な増減理由	R2年度：・学校の状況に応じ、学校防災アドバイザー派遣・緊急地震速報装置導入の計画を見直し ・教職員対象の講習会（防災・防犯・交通安全）を年1回（1テーマ）・3年サイクルの開催に変更													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	学校防災アドバイザー派遣済の学校の割合（%）		(42)	(49)	(57)	(68)	(100)	(100)	R6年度に100%					
			42	45	53									
活動指標	学校防災アドバイザー派遣校数	(30)	(30)	(31)	(32)	(34)	(34)	(32)						
		27	24	13	28									
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・15のモデル地区において避難訓練等を実践 ・学校防災アドバイザーを派遣（28校） ・防犯教室講習会を開催（313校） 								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいの和食教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博				
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	実行予算														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]								
[解決すべき問題・課題]															
朝食欠食の改善、共食の推進等、児童生徒の心身の健全な発達や望ましい食習慣の確立を図る必要がある。															
[事業目的]															
①児童生徒や保護者の食に対する関心を高める ②ふるさと福井の食文化や地場産物を活用した給食メニューの考案 ③食に関心のある児童生徒が個性を発揮し自らの可能性に挑戦する機会の提供															
[事業内容]															
○ふくいっ子アイデアメニューコンテストを開催 ・対象 小学5～6年生、中学生、特別支援学校の児童生徒 ・テーマ 【第一部門】〇〇に食べてもらいたい朝ごはん 【第二部門】ふくいの恵みを味わう学校給食 ・上位入賞メニューは、レシピ集とするほか、店頭販売や学校給食で提供															
[受益者] 小・中・高等・特別支援学校の児童生徒、保護者、教職員						[想定される受益者数] 約35,000人									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況	入賞メニューを各市町の学校で提供					他県の状況	神奈川県、石川県、福岡県等の複数の自治体で、メニューコンテスト類似事業を実施								

ふくいの和食教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 11 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	744				744									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移	1,577	1,060	989	519	744	実績を踏まえた開催方法の見直し								
2月現計予算額の推移	1,577	1,060	989	0										
決算額の推移	1,331	765	654											
前年度までの 主な増減理由	R2年度：事業見直しにより、指導力向上研修、調理従事員研修を標準外経費へ移行													
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	朝食を全く食べない子ども の割合 (%)	(目標)				(0.5)	(0.5)	(0.5)	R6年度に0.5%以下 (R3から目標を変更)					
活動指標	メニューコンテスト応募 校の割合 (%)	(目標)				(100)	(100)	(100)	(R3から目標を変更)					
	実績													
	実績													
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
新型コロナウイルス感染症の影響でコンテストは中止				<ul style="list-style-type: none"> ・朝食欠食の改善、共食の推進、保護者を含む食への関心の向上を目指し、朝食部門を設定 ・調理経験等を考慮し、各部門に学年で区分を設定 ・実技審査を廃止し、より多くの生徒の参加を促進 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

トップアスリート派遣による体育授業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等			[教育振興基本計画、スポーツ推進計画]				
[解決すべき問題・課題]												
<ul style="list-style-type: none"> ・本県の体力テストの結果は上位だが、記録平均値が下降している種目がある。(握力、ボール投げ等) ・中学校の体育授業で必修のダンスについては、思春期を迎えた生徒にとって「恥ずかしい」という感情が先に出てしまい、他の領域よりも積極的に体を動かして参加できない傾向にあり、教員の指導力向上も必要である。 												
[事業目的]												
小中学校の体育の授業に、県内のトップアスリートを補助指導者として派遣し、より専門的な見地から指導を行い、子どもたちが「走る」「跳ぶ」「ボールを投げる」「リズムに乗る」などの正しい動作を楽しみながら学ぶことで、体力・運動能力の向上につなげる。												
[事業内容]												
<p>○体育授業にトップアスリートを派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校(3～6年生) 52校 種目: 短距離走、ソフトボール投げ、なわとび ・中学校(1～2年生) 21校 種目: 短距離走、ハンドボール投げ、ダンス 												
[受益者] 小学校3～6年生、中学校1～2年生						[想定される受益者数] 約4,200人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 1県民1スポーツ普及事業 (実績) 小中学校における国体種目やニュースポーツの体験、トップアスリートによる手本の提示を通して、児童生徒のスポーツへの関心が高まった。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	各小中学校の希望により実施種目を決定					他県の状況	—					

トップアスリート派遣による体育授業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率	—					□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	3,216				3,216									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			3,141	3,150	3,216	派遣校数の増								
2月現計予算額の推移			1,641	2,533										
決算額の推移			1,536											
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	動作のポイントが分かり、運動意欲が向上した参加児童生徒の割合 (%) (目標)		(80.0)	(80.0)	(80.0)	(80.0)	(80.0)	アンケート調査を実施						
	実績		94.3	94.1										
活動指標	指導者派遣校数 (小・中)		(70)	(70)	(70)	(70)	(70)	小学校50校、中学校20校						
	実績		54	59										
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
小学校 (3～6年生) 短距離走 17校 ソフトボール投げ 15校 なわとび 7校 中学校 (1～2年生) 短距離走 10校 ハンドボール投げ 6校 ダンス 4校				新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年度実施予定校のうち一部が令和3年度以降に実施を延期				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

全国高等学校総合体育大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博		
事業主体	県、市町、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	実行予算、補助金、負担金												
補助率	県2/3、市町1/3												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画、北陸新幹線開業プラン]						
[解決すべき問題・課題]													
令和3年度全国高校総体の開催													
[事業目的]													
本県を中心に北信越ブロックにおいて全国高等学校総合体育大会を開催する。													
[事業内容]													
○総合開会式の開催 開催日 令和3年8月13日 場 所 サンドーム福井 ○競技種目別大会の開催（12市町） 開催競技 13競技14種目 （陸上競技、ハンドボール、サッカー、ソフトボール、ボート、レスリング、登山、自転車（ロード・トラック）、ボクシング、 ウエイトリフティング、フェンシング、アーチェリー、カヌー） 開催期間 7月27日～8月24日													
[受益者] 全国高等学校総合体育大会出場選手・監督						[想定される受益者数] 16,133人							
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 全国高等学校総合体育大会開催準備事業 （実績） ・実行委員会設立（R元年10月） ・総合開会式の式典進行等および公開演技の検討 ・各競技会場の仮設整備、競技・運営役員等の編成の検討 ・カウントダウンイベントの開催 等				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）					
市町との連携状況		・R2年4月より競技開催市町において競技種目別委員会を設立し、準備を実施 ・定期的に競技開催市町と連絡調整会を開催				他県の状況		・R2年度より北信越4県（新潟、富山、石川、長野）においても実行委員会を設立 ・定期的に北信越4県とブロック協議会を開催					

全国高等学校総合体育大会開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県、市町、実行委員会				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R3 年度
事業実施方法	実行予算、補助金、負担金													
補助率	県2/3、市町1/3													
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	576,004		13,658		(諸) 15,000		547,346	(国庫)地方スポーツ振興費補助金 (諸収入)(公財)JKA助成金						
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						576,004								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								目標値、指標の設定は困難					
活動指標	(目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

新たな部活動指導体制推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課		課長名	河瀬 康博
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金							■ 補助金	経過年数	5 年		
補助率	県1/3、市町2/3							□ その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画、スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]												
競技経験や指導経験の浅い教員が顧問を担当する運動部活動では、生徒へ専門的な技術指導を行うことができない。												
[事業目的]												
運動部活動に専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者を配置し、生徒への技術指導の充実を図る。												
[事業内容]												
○競技経験や指導経験の浅い顧問が担当する運動部活動に、地域スポーツ指導者を配置 配 置：中学校125名・高等学校60名、週1回2時間程度 実施主体：県、市町 補 助 率：（実施主体が市町の場合）県1／3												
○地域スポーツ指導者の資質向上のため、生徒への指導上の配慮事項などを中心とした講習会を開催 年2回（嶺北、嶺南）												
[受益者] 中学校、高等学校の運動部活動加入者						[想定される受益者数] 約25,000人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 地域スポーツ人材活用実践支援事業 (実績) 中学校、高等学校での運動部活動に地域スポーツ人材を活用 H28：95名 H27：102名 H26：115名					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 新たな部活動指導体制推進事業 (役割分担) 【教職員課】 退職教員などの人材を部活動指導員として配置し、部活動指導と大会時の引率・指導等の顧問業務を実施				
市町との連携状況	中学校の運動部活動に地域スポーツ指導者を配置（県1/3、市町2/3）					他県の状況		地域スポーツ指導者の活用状況 ・石川県…無し ・富山県…中学校：450人、高校：170人（部活動指導員を含む）				

新たな部活動指導体制推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金											
補助率	県1/3、市町2/3											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,726				7,726							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		7,660	7,660	7,660	7,714	7,726	研修講師旅費の変動					
2月現計予算額の推移		7,660	7,660	6,900	6,251							
決算額の推移		6,336	6,065	5,983								
前年度までの 主な増減理由	R2年度：研修講師旅費の変動											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	生徒への技術指導が充実した部活動の割合 (%)				(80.0)	(80.0)	(80.0)	(80.0)	専門的な技術指導ができる地域スポーツ指導者の配置により、生徒への技術指導の充実を図る。 ※R2：3月末までの活動後、実績報告書をもとにR3.4に集計			
活動指標	地域スポーツ指導者配置人数	(185)	(185)	(185)	(185)	(185)	(185)	(185)				
		実績 153	148	156	151							
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
151名の地域スポーツ指導者を配置（中学校98名、県立高校53名）				—				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

部活動地域移行研究事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博				
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	実行予算														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画、スポーツ推進計画]								
[解決すべき問題・課題]															
<p>国の方針である部活動の地域移行を進めるにあたっては、指導者の確保、地域クラブとしての受け皿づくり、保護者負担と行政支援の在り方など調整すべき課題が多い。</p>															
[事業目的]															
<p>令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、県内モデル地域において実践研究を実施し、各地域の実情に応じた課題の整理や今後の在り方を検討する。</p>															
[事業内容]															
<p>○県内モデル地域において休日の運動部活動の地域移行を実践</p> <p>○県内有識者、各地域関係者による研究評価委員会を設置し、地域に応じた課題を整理</p> <p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携（教育指導、学校・保護者対応、兼職教員の負担） ・指導者の確保（指導者登録制度、教員兼業） ・地域部活動の運営への行政支援（受益者負担軽減、指導者支援） 															
[受益者] クラブ会員						[想定される受益者数] 80人（10人×8部活を想定）									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 部活動地域移行研究事業（義務教育課） （役割分担） 保健体育課：運動部活動の地域移行について検討 義務教育課：文化部活動の地域移行について検討								
市町との連携状況	県内市町をモデル地域に指定し、中学校において実践研究を実施					他県の状況	石川県、富山県、岐阜県等においても国庫事業の受託を検討中								

部活動地域移行研究事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	実行予算											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,819	2,819					0 地域部活動推進事業					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移						2,819						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	調査対象者数(人) (目標) 実績					(100)	—	—	モデルの地域部活動に参加した生徒、保護者等 中間目標：県内全市町で部活動の地域移行に関する方針を検討 最終目標：全中学校・高校で生徒の個性を引き出す部活動を実施			
活動指標	実践モデル地域数 (目標) 実績					(2)	—	—				
[事業の評価]												
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価				
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博	
事業主体	県、県スポ協、市町、中体連、高体連 等				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区 分	■ 実行予算	S41 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金								■ 補助金	経過年数		
補助率	県10/10、県1/2・市町1/2								□ その他	56 年		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [学びを伸ばす] 政策 [夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画、スポーツ推進計画]					
[解決すべき問題・課題]												
<p>本県からトップアスリートを継続的に輩出するため、福井国体の選手強化の過程で得た有形・無形の「経験、人材、ノウハウ」をレガシーを継承・発展させ、中長期的な視点で選手確保・育成・強化サイクルを形成するとともに、それを支える指導体制の充実を図る必要がある。</p>												
[事業目的]												
<p>計画的な選手の確保、育成等の競技力向上対策を実施し、国民体育大会をはじめスポーツの全国大会において本県選手が活躍することを通して、県民に夢と感動を与え、本県のスポーツの普及・振興を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>○選手確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技体験会の開催やトップアスリートを目指す子どもを対象に育成プログラムを提供 ・県内の強豪高校で競技力向上に励む選手へ下宿費用を支援 ・「スポジョブふくい」を活用し、アスリートの県内就職を支援 等 <p>○育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の時から県選抜チームを結成し、定期的な練習会や強化遠征・合宿を実施 ・県外遠征やスーパーアドバイザーの配置により「チームふくい」を継続的に強化 ・オリンピック出場を目指す選手の活動を支援 等 <p>○環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操やボート、ホッケーに続く、地域に根差した新たなお家芸競技を育成 ・強化合宿や練習会、大会等にチーム専属トレーナーやメンタルトレーニングコーチ等のスポーツ医・科学の専門家を派遣 ・企業から支援を受けて自立・強化を目指すクラブチーム等を支援 <p>(新)各競技団体の中核となる若手指導者を育成</p>												
[受益者] 国体の正式競技(41競技)の選手・指導者						[想定される受益者数] 約80,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	各競技団体と連携し、体操やボート、ホッケーに続く、地域に根差した新たなお家芸競技を育成(県1/2、市町1/2)					他県の状況	歴代の国体開催県は、開催後も継続して競技力向上事業を実施					

競技力向上対策事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	保健体育課	課長名	河瀬 康博			
事業主体	県、県スポ協、市町、中体連、高体連 等				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	S41 年度 経過年数 56 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	実行予算、補助金													
補助率	県10/10、県1/2・市町1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	674,163					674,163								
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	令和3年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		1,305,976	1,465,914	870,821	804,934	674,163	オリンピック出場を目指す選手の支援を見直し							
2月現計予算額の推移		1,242,296	1,384,052	796,545	635,158									
決算額の推移		1,193,652	1,373,387	749,016										
前年度までの 主な増減理由	福井国体(H30)に向けた選手の確保変動による増減													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	全国大会での上位入賞者数(1~3位)				(100) 112	(100)	(100)	(100)	教育振興基本計画、スポーツ推進計画の目標 (R2から目標を変更) ※R2：R3.3.15時点					
活動指標	新規選手確保数(少年・成年)				(50) 50	(50)	(50)	(50)						
[事業の評価]														
前年度の実績				実績を踏まえた令和3年度の変更点				事業評価						
新型コロナウイルス感染症の影響により、国体をはじめ各種大会が中止となり、成果指標の達成は困難な見込み。令和3年度に向け、選手強化を継続				オリンピック出場を目指す選手の支援を見直し				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				